

## 寒い冬を健康に！

近年、冬場になると福祉施設でのインフルエンザやノロウイルスによる集団感染が、しばしば報道で取り上げられるようになりました。私たち職員は毎年、流行時前の研修会や委員会活動を通して「感染源を持ち込まない、拡げない、持ち出さない」をモットーに、適切な対応が図れるよう取り組んでいます。

# ノロウイルス対策五か条

一、こまめに徹底的に「手洗い」をすべし

調理前や食事前、外出後やトイレ後、おう吐物の処理後には必ず行いましょう。タオルの共用は避け、個人ごとにするかペーパータオルにしましょう。

一、多くの人に触れる部分の「洗浄」をすべし

水道の蛇口とシンク、ドアノブ、化粧室、トイレのフタと便座などは念入りに！

一、自分自身の「健康管理」をすべし

ノロウイルスに有効な抗ウイルス薬はありません。脱水症状や体力の消耗に気をつけ、水分と栄養の補給を十分に行いましょう。

一、二枚貝などは充分な「加熱処理」をすべし

食品の中心温度85〜90℃で、90秒間以上の加熱を！

一、すばやく適切に「おう吐物の処理」をすべし

(注)左頁の図参照

### 消毒液の作り方



500mlのペットボトルに水を半分ぐらい入れます。そこへ家庭用塩素系漂白剤の原液10ml(ペットボトルキャップ2杯)を入れます。最後に水を加えて500mlとします。ふたをしてよく振って混ぜてください。



# ～ おう吐物処理方法 ～



## < 必要物品 >

- ① バケツ2個
- ② 消毒液  
(遮光性の容器に入れる)
- ③ ゴミ袋(最低2枚)
- ④ 使い捨てエプロン2人分
- ⑤ 使い捨て手袋2人分
- ⑥ 新聞紙、ペーパータオル
- ⑦ 使い捨てキャップ
- ⑧ 足カバー



1

おう吐物発見!おう吐物処理セットを取りに行く。周囲の人を遠ざけ、換気する。



2

靴底の汚染を避けるため、足カバーをはめる。新聞紙を静かに広げる。消毒液を静かに新聞紙の上からまく。バケツの中に消毒液を全部入れる。



3

使い捨て手袋を2重にはめる。使い捨てキャップとエプロンを着用する。



4

おう吐物を覆った新聞紙を内側にくるむように拭き取り、一時回収のバケツに入れる。消毒液に浸したペーパータオルで、できるだけ広い範囲を拭き取る。



## < 注意事項 >

※おう吐物が乾燥するとウイルスが空気中に浮遊します。



7

使い捨て足カバー、使い捨て手袋、キャップを裏返ししながら外し捨てる。耳にかかっているゴムを持って、マスクを外し捨てる。内側に触れないように、口をしぼり、外のごみ箱に捨てる。処理の最後には必ず石鹸で手を洗い、うがいをする。



6

使い捨てのエプロンを汚れている面を内側にして脱ぎ、ビニール袋に捨てる。



5

外側の手袋を外し、一時回収バケツに捨てる。消毒液を一時回収バケツの中に注ぐ。ビニール袋の内側に触れないように、口をしぼる。もう一枚のビニール袋に、口を閉じた一時回収袋を入れる。